

英文誌 PLANKTON AND BENTHOS RESEARCH 投稿規定

1. 投稿資格：投稿論文は会員および非会員を問わず投稿することができる。投稿される原著の報文（原著論文，短報および総説）は未発表のものに限る。
2. 報文の性格：科学的知見がそれを立証すべき資料および考察を伴って提示されたものを原著論文，新しい事実や速報的内容として価値のある知見を含む比較的短い論文を短報とし，特定の主題に関する包括的な知識の集成および見解を述べたものを総説とする。
3. 校閲：原著論文，短報および総説に関しては校閲制度を設ける。編集委員会は校閲の適任者2名以上を選び，原稿の査読を依頼する。論文の内容・体裁に関して問題があると編集委員会が判断した場合には，投稿者にその旨を通知し修正を求める。修正を求めた原稿が3カ月以上たつて編集委員会に返ってきた場合は，新規投稿として取り扱うことがある。
4. 投稿：原稿は電子メールで，もしくは郵送の場合はコピーを2部添えて，随時日本ベントス学会英文誌編集委員会に送付すること。
送付先：〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所底生生物分野内 小島茂明 気付
E-mail: kojima@aori.u-tokyo.ac.jp
5. 掲載料：学会負担印刷ページの限度を1報文につき10ページとし，これを超える分については1ページにつき7,000円を著者が負担するものとする。またカラー図版や折り込みの図表など特殊ページの印刷費についてはその実費を著者負担とする。
6. 別刷：別に定めた別刷定価表による費用を著者が負担する。
7. 校正：著者による論文の校正は原則として1回のみとし，著者が受け取ってから3日以内に編集委員会に返却すること。校正は印刷のミスについて行い，本文や図表を変更することは認めない。校正段階でやむを得ず原稿を修正する場合は，組み直しに要した費用一切を著者が負担するものとする。
8. 著作権：英文誌 Plankton and Benthos Research に掲載された図表などの著作権は，日本ベントス学会または日本プランクトン学会に帰属する。

原稿作成上の注意

1. 原稿はA4判用紙にダブルスペースでタイプまたは印字する。論文原稿は，タイトル，著者名，英文要旨，本文，文献，表，図の説明，図の順に配置する。第1葉は，タイトル，著者名，所属・住所，ランニングタイトル，脚注に示される著者名，所属，所在地（ただし別刷請求先に*をつける）を示す。第2葉は英文要旨とキーワードのみとし，本文は第3葉から始める。第1葉から末尾の図の説明まで一連のページ番号を付す。
2. 英文要旨は250語以内とする。
3. キーワードは英語で5語以内とし，アルファベット順に配列する。
4. ランニングタイトルは英文で40字以内とする。
5. 学名はイタリック体とし，イタリック指定は原稿中に下線で記すこと。
6. 本文中での文献の引用は，Sanders & Hassler (1980), (Smith 1985, Blaber et al. 1990) のようにする。小キャピタルは使用しない。
7. 文献表記は，アルファベット順，年代順に配列し，下記の形式で記すこと。

Journal: Inoue N, Sekiguchi A (2006) Descriptions of phyllosoma larvae of *Scyllarus bicuspidatus* and *S. cultrifer* (Decapoda, Scyllaridae) collected in Japanese waters. *Plankton Benthos Res* 1: 26–41.

Tuji A, Niiyama Y (2012) A checklist of Japanese aquatic blooming cyanobacteria with comments on their taxonomy. *Bull Plankton Soc Jpn* 59: 30–34. (in Japanese with English abstract)

Aoki N (1999) *Hin-sanso suikai keisei kikou to sono kyodou* [Mechanism for formation of hypoxic water and its movement]. *Kaiyo Monthly* 31: 477–485. (in Japanese)

Book: MacArthur RH, Wilson EO (1967) *The Theory of Island Biogeography*. Princeton University Press, Princeton, New Jersey, 203 pp.

Pierrot-Bults AC (1997) Biological diversity in oceanic macrozooplankton: more than counting species. In: *Marine Biodiversity: Patterns and Processes* (eds Ormond RFG, Gage JD, Angel MV). Cambridge University Press, Cambridge, pp. 69–93.

Thesis: Malt SJ (1983) Studies on the taxonomy and ecology of the marine copepod genus *Oncaea* Philippi. PhD thesis. University of London, UK.

Internet: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Japan (2007) Annual statistics on fishery and aquaculture production.

Available at: http://www.maff.go.jp/toukei/abstract/1_9/44a.htm (accessed on 1 May 2009)

8. 原図の大きさは原則的に 21×30 cm 以下とし、文字の大きさや線の太さは縮小されて印刷されることを考慮すること。各図には図の番号、著者名を明記すること。
9. カラー図版や折り込みの図表は実費を徴収する。
10. 英文については、投稿前に英語を母国語とする適当な人に目を通してもらうこと。編集委員会は原稿レビュー前に英文チェックを受けるよう要請することがある。それらに要する費用はすべて著者負担とする。

日本ベントス学会誌 投稿規定

1. 投稿資格：投稿論文の著者は正会員および個人の賛助会員に限る。ただし、共同執筆者には会員外を含むことができる。なお、運営委員会が特に認めた場合には、会員外から特別寄稿を受けることができる。投稿される原著の報文（原著論文、短報および総説）は未発表のものに限る。
2. 報文の性格：日本ベントス学会誌は原則として和文を掲載する。科学的知見がそれを立証すべき資料および考察を伴って提示されたものを原著論文、新しい事実や速報的内容として価値のある知見を含む比較的短い報文を短報とし、特定の主題に関する包括的な知識の集成および見解を述べたものを総説とする。総説については、会員からの自由投稿のほか、編集委員会の企画で適任者への執筆を依頼することが有意義であるもの、測器や処理技術に関するものなどを含む。雑録は紀行報告、感想、資料、質疑応答などを含む。また、研究情報は、国内外の関連学会および機関の行事などの予告・記録、国内外の研究機関の紹介、書評、分野別文献目録などを含むものとする。掲載の可否は編集委員会が決定する。
3. 校閲：原著論文・短報・総説に関しては校閲制度を設ける。編集委員会は、校閲の適任者2名以上を選び、原稿の査読を依頼する。論文の内容・体裁に関して問題があると編集委員会が判断した場合には、投稿者にその旨を通知し、修正を求める。修正を求めた原稿が3カ月以上たつて編集委員会に返ってきた場合は、新規投稿として取り扱うことがある。
4. 投稿：原稿は電子メールで、もしくは郵送の場合はコピーを2部添えて送付すること。
送付・問い合わせ先：〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2 国立研究開発法人 国立環境研究所
金谷 弦 気付 E-mail: gen@nies.go.jp
なお、原稿中で、すでに印刷された図表ならびに本文を転記（引用）する際には著作権法に従い、必要な場合には、著者の責任において著作権所有者の許諾を得るものとする。
5. 掲載料：学会負担印刷ページの限度を原著論文8ページ、短報4ページ、総説12ページとし、これを超える分については1ページにつき9,000円を著者が負担するものとする。ただし、編集委員会が特に依頼した原稿についてはこの限りでない。また、カラー図版や折り込み図表については実費を徴収する。
6. 別刷：別に定めた別刷定価表による費用を著者が負担する。
7. 校正：著者による論文の校正は、原則として1回のみとし、著者が受け取ってから3日以内に編集委員会に返却すること。校正は印刷のミスについて行い、本文や図表を変更することは認めない。校正段階でやむを得ず原稿を修正する場合は、組み直しに要した費用一切を著者が負担するものとする。
8. 著作権：日本ベントス学会誌に掲載されたすべての報文（図表等も含む）の著作権は、日本ベントス学会に帰属する。

日本ベントス学会誌原稿作成上の注意

1. 原稿は、文章の部分、図、表も含めて原則としてワードプロセッサソフト等で作成する。印字の場合はA4判用紙を使用し、行番号を入れてダブルスペースで印字する。表もダブルスペースで印字する。目安としては1ページあたり25行程度、1行あたり30～40文字程度、文字の大きさは10～12ポイント程度とし、明朝体かそれに類似する書体を使用する。日本語文字は全角文字、英語文字および数字は半角文字とする。なお原稿用紙を使用する場合は、20×20字詰め横書き原稿用紙（A4判）を用いる。
2. 原著の報文原稿は、タイトル、著者名、英文要旨、本文、文献、表、図の説明、図の順に配列する。第1葉は、タイトル、著者名、所属・住所、英文タイトル、英文著者名、英文所属・住所、ランニングタイトル、脚注に示される著者名、所属、所在地（ただし別刷請求先に*をつける）を示す。第2葉は英文要旨とキーワードのみとし、本文は第3葉から始める。第1葉から末尾の文献まで一連のページ番号を記す。
3. 英文要旨は、250語程度とする。
4. キーワードは、英語で8語以内とし、アルファベット順に配列する。
5. ランニングタイトルは20字以内とする。
6. 生物の名前は、それが初出の部分に学名も入れる。学名はイタリック体とし、イタリック指定は原稿中に下線で記すこと。
7. 本文中での文献の引用は、山本（1995）、菊地・田中（1990）、Sanders & Hessler（1980）、（金盛 1982；市来ら 1991）、（Smith 1985；Balber et al. 1990）のようにする。小キャピタルは使用しない。
8. 文献表記の方法は、著者名をアルファベット順に配列し、下記の形式で記すこと。欧文単行本名は全名詞大文字始

りのイタリックで、雑誌名は省略なく全部を表記する。欧文雑誌名はイタリックとし、下線を付して指定すること。
○○編の表記は○○(ed(s.))または○○(編)とする。

George, R. W. and A. R. Maine 1967. The evolution of spiny lobsters (Palinuridae): a study of evolution in the marine environment. Evolution, 21: 803–820.

堀越増興 1973. 海洋ベントスの群集生態学. 山本護太郎(編), 海洋生態学, 東京大学出版会, 東京, pp. 49–63.

市来忠彦・種村一茂・富永叶男・塩川 司 1976. イセエビのプエルルス幼生および初期稚エビの採捕とその生態. 水産土木, 12: 31–36.

北村良之介 1963. 瀬戸内海とその近接水域の沿岸における底生動物群集の漁場学的研究. 南西海区水産研究所研究報告, 21: 1–90.

Levinton, J. S. 1977. Ecology of shallow water deposit-feeding communities, Quisset Harbor, Massachusetts. In Ecology of Marine Benthos, Coull, B. C. (ed.), University of South Carolina Press, Columbia, South Carolina, pp. 191–227.

MacArthur, R. H. and E. O. Wilson 1967. The Theory of Island Biogeography. Princeton University Press, Princeton, New Jersey, 203 pp.

三宅貞祥 1982. 原色日本大型甲殻類図鑑(1), 保育社, 東京, 261 pp.

Mukai, H. 1998. Measurement of bioturbation rate in tube-building maldanid worms (Polychaeta: Maldanidae) with a video observation system. Benthos Research, 53: 1–8.

Tamaki, A. 1985a. Detection of non-interference within a mobile polychaete species. Journal of Experimental Marine Biology and Ecology, 90: 277–287.

Tamaki, A. 1985b. Zonation by size in the Armandia sp. (Polychaeta: Opheliidae) population on an intertidal sand flat. Marine Ecology Progress Series, 27: 123–133.

9. 図表とその説明は、英語表記とする。各図の説明は一括して原稿の末尾に置く。表の説明は、表の上に置く。表もダブルスペースで作成すること。図表の説明はそれだけで内容がわかるよう丁寧に記述すること。図表の挿入位置は、原稿の余白に明記すること。
10. 図の原図の大きさは原則的に21×30 cm以下とし、文字の大きさや線の太さは縮示されて印刷されることを考慮すること。投稿の際に送付する3部は、鮮明な複写で作成すること。写真が含まれる場合、それも写真で3部作成すること。コピーは不可。ただし写真と画質的に遜色無いカラーコピー等による複写は、認められる。原図には図の番号、著者名を明記すること。
11. カラー図版や折り込みの図表については実費を徴収する。
12. 英語部分(タイトル, 要旨, 図の説明と図中の用語, 表)については、必ず投稿前に英語を母国語とする適当な人のチェックを受けること。編集委員会は原稿レビュー前に英文チェックを受けるよう要請することがある。それらに要する費用はすべて著者負担とする。
13. 印刷した原稿を郵送等により投稿した場合は、原稿が受理された後、編集委員会からの指示に基づいて原稿の電子ファイルを電子メールへの添付等により送付すること。
14. 原図は投稿原稿が受理された後、編集委員会からの指示に基づいて送付する。